

ふさ子ども学習室で家庭学習ができる小・中学生になろう まちのおばさん・おじさんが応援します!

学校から帰った子どもたちに勉強する場所をつくろうという目的で、たくさんの方が集まってふさ子ども学習室ができてから、もう5年が過ぎました。毎年3月になると、6年生が小学校を卒業します。今年も6年生が通っていたいくつかの学習室では、卒業をお祝いするささやかなパーティが開かれました。

卒業生に色紙をプレゼント!

写真は新木駅前教室のスタッフの先生たちが、卒業する6年生に贈った色紙です。学習室に毎週通って自力で勉強を続けた6年生たちを、スタッフの先生たちはみんな自分の孫のように大事に見守ってきました。だから、卒業生になる子どもたちとは特別な心のつながりがあるのです。特別な心のつながり…、それは学校の先生とはまた違う、まちの大人の人たちとのつながりです。スタッフの先生たちは、学習室に勉強に来た子どもたちとの心のつながりをとても大事にしています。学習室に来たらお互いにあいさつを交わした上で、今日1日学校であったことをたくさん話してくれる子、黙って自分の決めた課題を黙々とこなす子、どこかイラついて勉強に集中できない子…、いろいろです。その一人一人の表情や様子



新木駅前教室の卒業生に贈られた色紙

を見極めて、それぞれにいま必要な話し相手になってあげようと、スタッフの先生たちは見守りを続けているのです。時にはまちの通りで出会うこともあります。そんなとき、ふさ子ども学習室に通う小・中学生の皆さんはスタッフのおばさん・おじさんに遠くから手を振ってあいさつしてくれるのです。ふさ子ども学習室は、まちの子どもたちとまちのおばさん・おじさんたちとの出会いとつながりの場所となっています。

まちの大人そして地域とつながる力 子どもたちにとって大切な生きる力に!

ふさ子ども学習室に毎週勉強に来る子どもたち。みんな家庭学習をきちんとやりたくて来るのですが、同



ふさの風教室のスタッフの皆さん

時に、スタッフのおばさん・おじさんたちと会えるのを楽しみにしているのかもしれないね。がんばるとほめてくれるし、少しつかれたなと思うと優しく声をかけてくれる。そんな毎週の出会いを続けていると、気がいたら学習室に通うのがあたりまえになって、家で勉強することも習慣になってしまったようですね。